

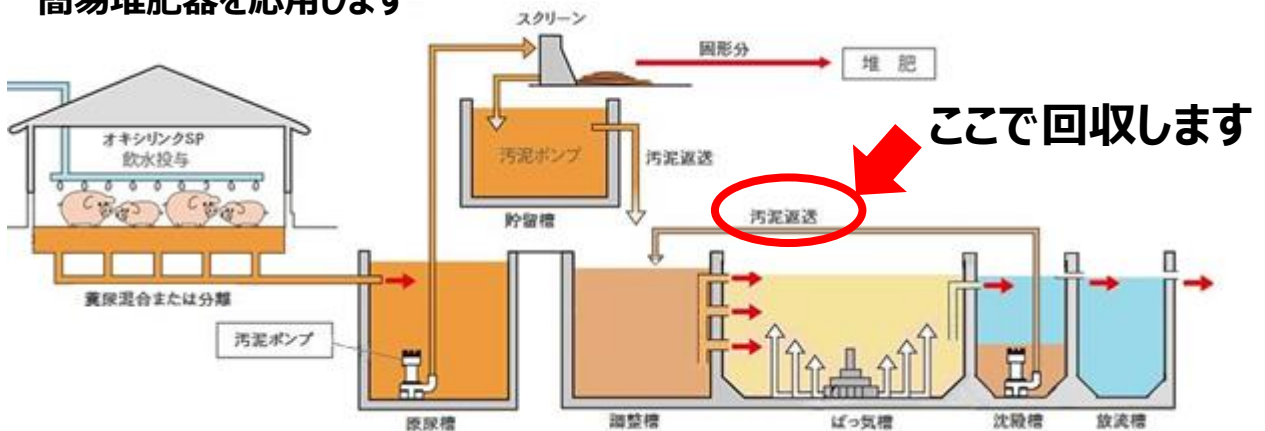
タヒロン

浄化槽の余剰汚泥の回収に 水分の多い堆肥の水切りに

浄化槽の沈殿槽の返送管の途中など、スクリーンのない施設に応用するだけで、余剰汚泥を分離できます。

凝集沈降剤-@**クリンクル**を併用することで回収しやすくなります

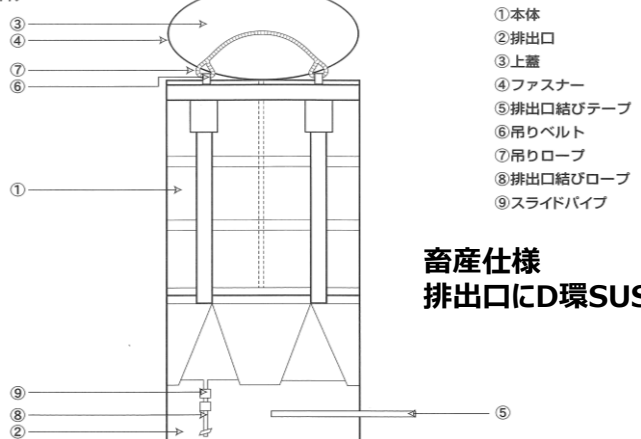
簡易堆肥器を応用します



水をよく切ってから、下部の排出口から開放し、堆肥と混ぜてください



各部名称



畜産仕様
排出口にD環SUS付

●水分の多い堆肥の水切に応用

Dr.ヒューミック・プラスを混ぜてから、タヒロンに入れてください。
水分が多い場合は、袋の半分くらいの容積が重量の目安になります。
その後、水を切ってから堆肥場へ移動してください。
直接地面に置かずパレット等を敷いてください。長期間放置しない。

●そのまま堆肥化する場合

もみ殻やおがくずで水分調整が必要です。
堆肥場スペースがない農場に適しています。

簡易堆肥器としてのタヒロンの特徴

堆肥の切り返し不要

悪臭の低減に

ハエの発生を防止-メッシュサイズより大きいウジ、ハエは外部に出ません

品名	型式	規格	開口部	重量制限
タヒロン	自立型	1m ³	1100×1100	500kg
タヒロン	一般型	1m ³	1100×1100	500kg

耐用年数5年以上
超強力ポリエステル糸使用。塩化ビニール樹脂加工。
敷料、糞尿、酸、アルカリ耐候性に強い

使用事例



城善市氏牛舎(乳牛35頭) 500kg入-360袋
平成2年度 畜産施設環境整備事業
滋賀県愛知郡愛東町鯉江1317

●タヒロン利用による臭気の実験 [滋賀県畜産技術センター]

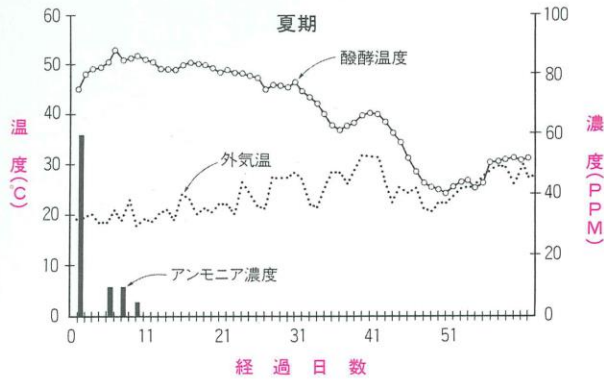


図1 発酵温度およびアンモニア濃度の変化

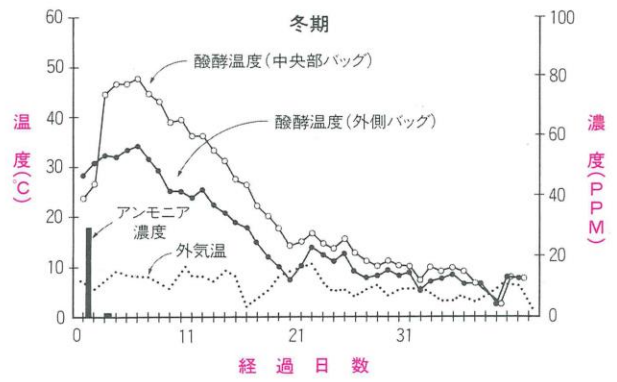


図2 発酵温度およびアンモニア濃度の変化

1. 実施期間

夏期:1990年5月15日～1990年7月15日 冬期:12月11日～1991年1月22日

1991 No5 畜産技術センターだよりより抜粋

2. 供試材料

搾乳牛ふん(水分82%) 副資材 夏期:戻し堆肥 冬期:モミガラくん炭

3. 臭気測定

アンモニア濃度:北川式検知管で1日おきに測定

●タヒロン利用による畜ふん発酵実験 [群馬県畜産試験場]

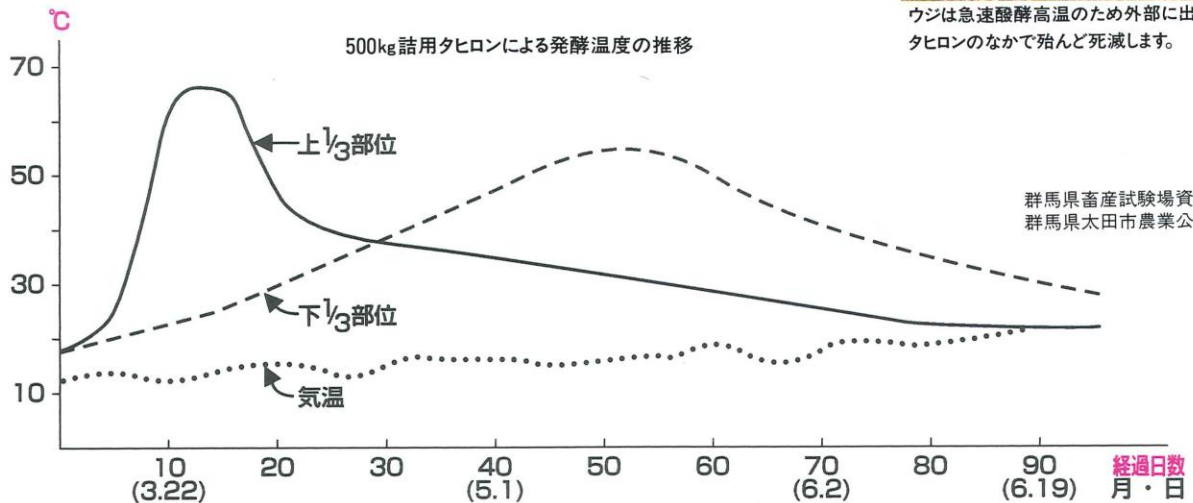


平成6年度地域内家畜ふん尿リサイクル事業(500kg入-230袋)

太田市農業振興公社



ウジは急速発酵高温のため外部に出ることなくタヒロンのなかで殆んど死滅します。



群馬県畜産試験場資料より
群馬県太田市農業公社

●採卵鶏水分85%以上脱水乾燥〔ハウス内〕

ハウス内乾燥



ハウス内結露



ハウス内乾燥



脱水初期



乾燥期



排出物(塊が多い)



脱水中後期



乾燥後水分40%前後
(塊になっている)

